

課題名	多様な特性を持つショウジョウバエ種のゲノム配列
課題管理者	近藤 周 国立遺伝学研究所 生物遺伝資源センター
実施期間	2014 年度
概要・実施体制	ショウジョウバエ科の昆虫は全世界で 1 万種に上ると推定され、極めて多様性に富む分類群である。生物学研究で幅広く使われているキイロショウジョウバエ (<i>Drosophila melanogaster</i>) はその 1 種であり、飼育が容易で世代時間が短いという特徴から、遺伝学のモデル生物として長い間愛用され、現在でも生物学の様々な分野を牽引している。キイロショウジョウバエは、もともとはアフリカの熱帯地方が原産であり、生物が過ごしやすい環境に生息する種である。これに対して、ショウジョウバエ種の中には、北極圏や砂漠地帯など極端な気候への適応進化を果たしたものや、毒キノコ食等の特殊な食性を発達させたものなど、キイロショウジョウバエには見られない卓越した特性を持つものがある。これらの興味深いショウジョウバエ種は、飼育が容易なものも多く、新しい生命現象の実験遺伝学モデルとして高いポテンシャルを有している。本事業では、その中から特に今後の研究の発展が期待される 10 種のゲノム配列を決定し、研究コミュニティに対して公開する。  <i>Drosophila triauraria</i>
成果	<i>D. parapallidosa</i>, <i>D. hydei</i>, <i>D. guttifera</i>, <i>D. nasuta</i>, <i>D. lacteicornis</i>, <i>D. subobscura</i>, <i>D. triauraria</i>, <i>D. bifasciata</i>, <i>Chymomyza costata</i>, <i>Scaptomyza elmoi</i>, BioProject ID=PRJDB4817 http://trace.ddbj.nig.ac.jp/BPSearch/bioproject?acc=PRJDB4817 http://www.ncbi.nlm.nih.gov/bioproject/?term=PRJDB4817